

<別紙1>

第三者評価結果報告書

①第三者評価機関名

株式会社 R-CORPORATION

②施設・事業所情報

名称：井田保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：長瀬 学	定員（利用人数）：130名	
所在地：〒211-0035 川崎市中原区井田1-26-33		
TEL：044-751-1637	ホームページ：https://www.choujyu-f.jp	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日：1979年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：社会福祉法人長寿福祉会		
職員数	常勤職員：25名	非常勤職員：9名
専門職員	（専門職の名称）	名
	保育所長：1名	保育士：24名
	看護師：1名	栄養士：4名
	調理員：1名	その他の職員：3名
施設・設備の概要	（居室数）	（設備等）
	乳児室：2室	調理室：1室
	事務・医務室：1室	ホール：1室
	保育室：5室	

③理念・基本方針

<法人理念>

- 『縁』（えにし）…子ども、地域、未来、出会い
～保育に関わり、出会った、子ども、地域、未来を周りから見守り 支えていくことを大切にしていきます～

<保育理念>

- 子ども一人ひとりを大切にし、自然を愛し育てる保育

<保育目標>

- 体力のある元気な子ども
- 友達と仲良く遊べる子ども
- 豊かな感性を持った子ども

④施設・事業所の特徴的な取組

法人理念に述べられているように、子ども、職員、保護者、地域の方々がこの保育園に集う『縁』（えにし）を大切に、保育に関わり、出会った、子ども、地域、未来を周りから見守り支えていくことを井田保育園では大事に考えて丁寧に保育に当たっています。その為にも担任以外の職員も子ども一人ひとりに対応した保育が行えるようクラス会議や職員会議、ミーティングの場を大切に、気になることも含め密に情報交換を図り、全職員で全園児を見られるよう保育に尽力しています。

⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	2019年 6月 24日（契約日） ～ 2020年 4月 13日（評価結果確定日）
受審回数（前回の受審時期）	1回（2011年度）

⑥総評

◇特に評価の高い点

1. 【戸外遊び（自然）と薄着保育】

●子どもには基礎体力をつけて、元気に遊んでもらうのが井田保育園の伝統保育です。天気の良い日は戸外に積極的に出かけ、自然と触れ合い・親しみ、好奇心、探求心が育めるようにしています。園庭は広く、樹木も植栽され自然に囲まれています。もっと大きな自然に親しみ、近隣の自然豊かな公園に出かけ、自然に関心を持ち、不思議さや尊さに気づいたり、様々な自然物から五感を刺激し、戸外遊びを通して新たな発見や創造等、子どもの育ちに自然との触れ合いを大切にしています。また、園では薄着保育を推進し、半袖、半ズボン、裸足で過ごし、「暑い」、「寒い」を肌で感じることで対応力を高め、外気温の変化に対応できるような体作りを行い、長く健康で、丈夫な身体を作っていきます。また、薄着により動きやすく、たくさん運動をして寒さ対策、免疫力の強化にも努めています。

2. 【食育活動】

●幼児クラス（3歳～5歳児）は年間を通して栽培、収穫、調理体験を保育の中に取り入れています。法人系列の長寿保育園の前の畑を一部借りて大根、じゃがいも、さつまいも、人参などを栽培しています。園庭ではプランターを使用して夏野菜を育て、水をやり、成長過程を観察し、花から実をつけ大きくなっていく植物に愛着を持ち、収穫をして食すことから野菜嫌いの克服にもつなげています。意欲的に食べ、体力をつけ、元気な子どもは保育目標でもあり、食育に力を入れています。

3. 【布おむつの使用】

●井田保育園では、乳児には布おむつを使用しています。布おむつでは、乳児の肌に優しい、ゴミにならないのでエコが図れ、コストもかからず、さらに、おむつはずれが早いメリットが挙げられます。紙、布どちらのおむつを使用してもかぶれてしまう可能性はありますが、汚れた状態で長時間そのままにしていることが肌を傷める原因であり、清潔を保つことが大切ですが、子どもは排尿、排便の不快感を布おむつだと自ら知らせ、おむつを替えた時のサッパリ感は感覚の敏感さにもつながります。園の方針で意見が分かれるところでしょうが、1つの保育の在り方を学ぶ点、繰り返し使える地球にやさしい点等、子どもを育むという中で学ぶ機会には職員が「考える」点でよい取り組みに思われます。

◇改善を求められる点

1. 【子どもの発想のさらなる取り込みについて】

●井田保育園の子どもたちはのびのびと川崎の自然を享受し、様々な表現活動に取り組んでいます。日々の保育で廃材や自然物等を使った遊び、制作を定期的に取り組み、異年齢でお店屋さんごっこを体験し、役割や社会のルール、その場に適した言葉等を学ぶ機会を設けています。また、楽器あそび、体操やリトミックを取り入れ、情緒教育、基礎の能力の発達を促すよう表現活動の場を提供しています。幼児クラスでは毎年2月に生活発表会を行い、これまでの保育で培った歌や合唱、劇を披露しています。さらに、これからの工夫として生活発表会のテーマや構成等については、子どもの興味や意欲を引き出し、子どもたちが主体的に関わり、もっと子どもたちでアイデアを出し合い、話し合い、自分たちで構成していけるよう、職員は子どもたちのアイデアや子どもの意図をより汲み上げ、分かち合い援助する等、工夫や取り組みにさらに期待いたしております。

2. 【経験値の浅い職員のアイデアを引き出す取り組みについて】

●職員間において経験値の差や年齢差を踏まえ、個々が十分に自分の気持ちを表現できているかについて、井田保育園では、職員間の会議の体制を階層別に確立し、年間計画に年齢別会議を盛り込み、意見交換、情報交換、情報の共有を図り、組織の風通しの良い体制を構築しています。週1回は各クラス会議を実施し、経験値の違うメンバーを構成し、クラス運営や子どもについて情報共有や意見交換を図り、若い職員が経験値の高い職員から学ぶ機会ともなっています。さらに、会議以外に同年代での研修を行う機会を設け、1つのテーマを話し合う場からさらなる職員一人ひとりの考え、意向、保育観等を把握し、ひいては質の向上につなげられると考えます。一考を期待いたします。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

施設名 井田保育園

施設長名 長瀬 学

《第三者評価を受審した感想》

これまで曖昧になっていた部分が明確になり、全てにおいて振り返る良い機会となった。自己評価後全員で話し合い確認できたので共通意識を持って園全体の意識統一につながった。

訪問調査においては緊張感もあり構えるところもあったが、普段通りの保育を行うことができた。

評価結果をもとに今後に生かしていけるよう職員が一丸となり、具体的に組み組んで行きたい。

《評価後取り組んだ事として》

1. 食育活動の更なる充実として離乳食表を作成し掲示する

2. おたより等はメール配信にしてペーパーレス化を図る

⑧第三者評価結果
別紙2のとおり